

## 第12回 武蔵野市ごみ収集の在り方等検討委員会要録

- 【日 時】 平成30年4月4日(水) 午後7時00分～8時15分
- 【場 所】 武蔵野市役所 4階 412会議室
- 【出席委員】 阿部迪子 岡内歩美 荻野芳明 加藤慎次郎  
齋藤尚志 迫田洋平 白石ケイ子 田口 誠 竹下 登  
西上原節子 能勢方子 花俣延博 濱中洋子  
平岡直樹 前田美和子 茂木 勉 山本信之 (敬称略)
- 【事務局】 クリーンセンター所長、ごみ総合対策課減量企画係長 他
- 【欠 席】 今木仁恵
- 【傍 聴】 なし
- 【配布資料】
- 資料1 収集見直しの概要
  - 資料2 ごみ収集体制の最適化に向けた事業展開
  - 資料3 市内ごみ収集の地区割と収集日(案)
  - 資料4 平準化における環境負荷削減減量
  - 資料5 都内各自治体のごみ収集頻度一覧
  - 資料6 中間とりまとめ骨子(素案)

### 1 開 会

### 2 議題

#### (1) 行政収集の見直しの内容について

【事務局】 資料1・資料2について説明。

【委員長】 事務局の説明を受けて、ご意見やご質問等はあるか。

【委員】 資料1の資源物の一部隔週化については認識があるが、古紙・古着に関しては、隔週化が可能ではないかと思うがなぜ現行のままなのか。

【事務局】 事務局としても当初は古紙・古着も隔週化する考えでいた。市としては、雨に濡れるとカビが発生しリサイクルが出来なくなるため、雨の日には古紙・古着を出さないでくださいとアナウンスをしている。これを隔週化してしまうと、場合によっては4週間に1回の大量排出になると市民側が不便になってしまう。また、事業者が4週間分の古紙・古着を1度に回収することになると非常に多くの車両と人員も必要になる。平準化・隔週化による収集体制の合理化は事業者の経営状態を万全にしてコスト削減につなげるねらいがあ

る。事業者の聞き取りの中では、4週分をまとめて回収することは、経営の合理化にはつながらないため、現状のままの方がよいと考えた。また、紙を出しにくい状況にすると、可燃ごみへの混入につながり、排出量が増加してしまうことから古紙・古着は毎週1回のままにした。

【委員】 収集の回数を減らして合理化することによって経営の効率化にどのように影響をあたえるのか、事務局の説明では納得しきれないところがある。資料1の見直しの効果についても、優先順位に経営の効率化が出てくることに違和感を覚える。

【事務局】 経営の合理化よりも環境負荷を上位にした方が環境部としては良いと思われるので修正する。経営の合理化については、次の議題で説明回答します。

## (2) 見直しによる環境負荷削減について

【事務局】 資料3・資料4について説明。

委員の質問にありました経営の効率化によりどのようなメリットがあるかについては、車両の走行台数の削減が大きい。また、隔週化の大きなメリットは資源物を収集する際に、パッカー車が満杯になるためには1時間半から4時間を要すると言われている。可燃ごみ量は多いため約1時間で満杯になり、クリーンセンターへは2往復が可能になる。しかし、資源物の場合はいくら走行しても満杯にならない。隔週化することで家庭から排出する量が増加することで、2往復する車両が増えるため効率的に走行することが出来ると考えられる。

【委員長】 事務局の説明を受けて、ご意見やご質問等はあるか。

【委員】 市民は、平準化についての説得をして頂かなくても受け入れやすいと思うが、隔週化については、利便性が悪くなる事ばかりが先走り、この説明では説得が弱いように感じる。平準化と隔週化はどちらも環境負荷を半々だとすると、平準化だけでよいと思う市民が多いのではないか。コストの資料は出し難いと思うが、対象資源物のコスト構成比率の資料が多少ないと、市民は平準化だけで良いと思われてしまう。コストの構成比率を示すことはできるのか。

【事務局】 コストの構成比率は、全体は可燃・不燃が大きく約9億円。プラスチックとペットボトルで3億円弱、びんが1億円弱、缶が1億円弱、古紙・古布が約1億6千万円となり、正確な数字ではないが全体で合わせると13分の4ぐらいになる。環境負荷の削減効果の分母に可燃・不燃を入れていないが、かけた経費よりもこれだけの効果があるというような、効率の良い算出の仕方をすると説得力が増すと思われる。

【委員】 委員の発言から、事業者の合理化を強調しすぎるのではないかという意見についてはご尤もであると思う。昨年度取りまとめた報告では、市民・事業者・

市が連携をして減量行動に取り組んでいくことを基本とするという考えが示された。全体像の中の一部として、行政収集の見直しを考えている。事業者の効率も重要ではあるが、どこかの主体だけが頑張るのではなく全体が頑張るとというのが報告書の考え方である。

【委員長】 中間とりまとめの方向性として、資料1・2の考え方に従って見直しの目的や具体的な内容をまとめてもよろしいか。ご意見やご質問等はあるか。

【委員】 感想としては、このような試算の仕方があるのかと思った。主婦層は試算の資料はあっけにとられると思う。

【委員】 コスト面について補足説明。人件費が上昇している中、現タイミングでは合理化をしても直接的にコストの削減につながるかは厳しい状況にある。また人も集まり難くなっている。コストの削減が目に見えると市民に対しての説得力はあると思うが、算出は難しい。東日本大震災以降、約4割程度の人件費が上がっている。この先のオリンピック開催があることから今後も上がってくると考えられる。費用の抑制を目指すことが目的とならざるを得ないかと思う。行政収集について、受託している事業者のみなさんは合理化に取り組んでいると思うが、行政がその取り組みを見直さない限りは、根本的解決にならないことが大きな課題になっている。そして、どのタイミングで見直すのかも含めて議論が必要になっている。

【委員】 前回の議事録の中で、ペットボトルを有価物として処理して運んでいることについての発言で、青梅市については、店頭回収はしても、行政で回収していると言われていた。店頭回収をされたものは事業者がどのようなルートで処理されているのか。

【委員】 青梅市では4月1日からペットボトルの回収を、行政では回収は行わなくなり店舗での回収をすることになった。店舗の回収方法としては、業者が各店舗を回収するとコストがかかるため、納品トラックの戻り便でセンターにまとめて回収する方法をとっている。業者に確認すると、中国では輸出がほとんどなくなり、東南アジアでやっているがコスト的にはかなり厳しい状況にある。有価で買い取っていても人件費を含めると赤字になってもおかしくないと聞いている。ペットボトルは有価で処理はしているが、逆に処理代としてお金を支払ってやってもらっているような見積もりになっている。ペットボトル単体を有価で処理することは難しくなっている。

【委員】 全体の傾向としてあると感じる。市でも、店頭回収や販売店回収を考えていけないといけないと思った。前回の委員会の内容の感想だが、レジ袋のことを発言されていたところで、有料にするとお客さんが減ると懸念もされることもあると思う。また、イニシャルコストの助成に対しては手続きが面倒になるのではないかと感じる。

(3) 中間とりまとめについて

【事務局】 資料6について、及び今後のスケジュールの説明。

【委員長】 中間とりまとめについて盛り込むべきことや抜けていることはあるか。

【委員】 業務積算は市民に対してではなく、市役所内部で見直すべきものであるので削除していくこととする。集団回収の言及は薄いように思うが、課題があって今後も継続して検討をしていく旨を内容に入れ込んでいくこととする。今回の見直しは、行政収集に留まるものではないのでそのあたりも内容に盛り込んでいく方向で考える。

【委員】 今回のまとめで、短期的な効果についてはこの資料の通りであると思う。根幹は長期的構想をふまえて短期で見直し可能な部分の見直しを行うということだが、市民の皆さんが納得できるかどうか。長期構想がある程度イメージできれば短期構想がこの程度でも良いのではと感じるのではないか。長期構想は志が高くないといけないと思う。別紙でもよいので、理想や高齢化社会のモデル例を作ってはどうか。そうすることで、主婦層も納得していただけると思う。

【委員】 ごみを減らすことが基本である。環境問題についてはG7やG20でも取り上げられている現状にきている。東京都でも海ごみにいての対策を行っていることを知った。武蔵野でも大きな目的は何なのか、自分たちが環境を壊すのか、守るのかを最初に訴えて欲しい。その上で、短期的には効果が薄くても、長期的には地球を守ることに繋がることを目指して欲しい。

【委員】 ごみ総合対策課として、この委員会を通して一つの考え方を示せばよいのではと考える。環境の話は、単年度で終わるものではなく、継続的に環境負荷を低減する考え方でなければ、場当たりの対応となってしまう。現時点で少しの効果しかないの見直しはしないというマイナスの方向性に進んでしまう。根本的な視点は、継続的に環境負荷を低減していくことである。検討委員会の方向性を確固とするために、ごみ処理基本計画の基本理念として、「環境負荷の少ない省資源・省エネルギー型の持続可能な都市を目指す」という目的がある。計画の中の位置付けをされたことを進めていくことについて、冒頭に述べてはいかがか。

(4) その他

【事務局】 次回の委員会日程について、4月23日(月)19時からとします。

3 閉 会

以上